



災害放送モデル設備ガイドライン

技 術 資 料

ARIB TECHNICAL REPORT

ARIB TR-B2 1.0版

平成8年6月25日 1.0版 策 定

社団法人 電 波 産 業 会

Association of Radio Industries and Businesses

災害放送モデル設備のガイドライン

目 次

第1章 災害時のニーズの確認	1
1.1 災害発生直後	1
1.2 災害発生より時間の経過後	1
第2章 阪神・淡路大震災での災害報道以外での緊急対応	3
2.1 NHK	3
2.1.1 教育テレビ、FMラジオによる安否情報	3
2.1.2 AMラジオ（第一放送）による生活情報	3
2.1.3 文字放送による生活情報、災害情報	3
2.1.4 避難所への受信機設置活動	3
2.1.5 文字放送受信対策	4
2.1.6 受信相談	5
2.2 毎日放送	5
2.2.1 文字放送による生活情報、復旧情報、英語案内	5
2.2.2 文字放送受信機の設置活動	5
2.3 朝日放送	5
2.3.1 文字放送による関連情報	5
2.3.2 インターネットの震災ホームページへの情報提供	6
2.4 兵庫エフエムラジオ	6
2.4.1 外国語による災害放送	6
2.5 兵庫県庁	6
2.5.1 臨時災害FM放送局（FM796フェニックス）	6
第3章 仮設放送局の基本条件	7
第4章 災害放送メディアの選択	8
4.1 音声情報の提供	8
4.1.1 ラジオ受信考察	8
4.1.2 ラジオ送信考察	8

4.1.3	AMラジオ	8
4.1.3.1	送信装置	8
4.1.3.2	送信空中線装置	9
4.1.3.3	実現性	10
4.1.4	FMラジオ	12
4.1.4.1	送信装置	12
4.1.4.2	送信空中線装置	12
4.1.4.3	実現性	12
4.2	映像・文字情報の提供	13
4.2.1	テレビジョン	14
4.2.1.1	地上波テレビジョンの送信システム	14
4.2.1.2	地上波テレビジョンの受信	17
4.2.1.3	CSテレビの利用	17
4.2.1.4	実現性	18
4.3	災害放送メディア	23
第5章 災害放送モデル案		24
5.1	概要	24
5.2	FMラジオ	26
5.2.1	特徴	26
5.2.2	制作系統	26
5.2.3	送信系統	31
5.3	CSテレビによる映像・文字情報の提供	37
5.3.1	特徴	37
5.3.2	制作系統	39
5.3.3	送信系統	46
5.4	共通項目	48
5.4.1	電源設備	51
5.4.2	輸送・実装方法	53
5.4.2.1	FM放送設備の例	53
5.4.2.2	CS放送設備の例	56
5.4.2.3	その他	56
5.4.3	連絡線	59

第6章	まとめ	60
参考資料		
資料1	被災の程度によるライフラインの復旧と情報入手方法の検討	61
資料2	災害時の各種情報伝達手段の検討	62
資料3	災害時の情報発信	63
資料4	ラジオ生産台数	64
資料5	カラーテレビ出荷台数比	65
資料6	文字放送受信機普及台数	65
資料7	災害放送用中波ラジオ設備の検討	66
資料8	災害放送用FMラジオ設備の検討	72
資料9	災害放送用CSテレビ設備の検討	73
資料10	災害の各フェーズ	75
資料11	災害仮設放送局の対応	76
資料12	FMラジオの実行	77
資料13	CSテレビの実行	78
資料14	ソフト制作面での課題	79
付記		80